



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【2022-23 年度 地区方針】 「ロータリーの再生」 —新たな挑戦—

会 長 島 利夫 副 会 長 富岡 昭一 幹 事 川口 禮敬 S A A 片岡 英之 会報委員長 叶野 聡	2022～2023 第 2382 例会 2023 年 6 月 6 日	例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘 例会場 川崎市中原区小杉町 3-10 ホテル精養軒 TEL(044)711-8855 事務所 川崎市中原区小杉町 3-428 山協ビル 402 号 TEL(044)722- 4331 FAX(044)722-6334 E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp URL: https://www.kawanaka-rc.com
-------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

例 会 報 告

開会点鐘	島 利夫会長
司 会	片岡 英之会場監督
合 唱	ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
お客様紹介	大友 徹親睦活動委員 吉崎 治様 国際ロータリー第 2590 地区第 2G ガバナ補佐(川崎宮前 RC) 一ノ瀬 仁敏様 税理士 松波 登様 川崎北ロータリークラブ 邵 天辰さん 2023 年度米山奨学生(中国)

長谷川俊雄会員

ニコニココーナー

奥村 香会場監督(補)
吉崎 治様: 退任のご挨拶に伺いました。島会長・川口幹事お世話になりました。

松波 登様: お世話になります。
島 利夫会長: 一年間本当にありがとうございました。無事に今年度が終わりそうで嬉しいです。皆様の益々のご発展をお祈りしております。

川口 禮敬幹事: 本日もお世話になります。
富岡 昭一副会長: 朝山さん・小泉さん本日の戦争体験の卓話よろしく。

白井 正男会員: 本日の戦争体験、朝山・小泉会員よろしく。

渡邊 新治会員: 卓話楽しみにしています。本日もよろしく願い申し上げます。

井上 裕司会員: 多摩川清掃お疲れ様でした。本日も途中退席で申し訳ありません。

金子 利昭会員: 本日もお世話になります。

朝倉 和信会員: よろしく願います。

鹿島 義久会員: 6 月 4 日社会奉仕委員会の活動による川崎市美化活動の多摩川清掃には多数の方の協力を頂き無事に終了しました。ありがとうございました。

今後のプログラム予定

6 月	プログラム
6 月 20 日	夜間例会(今年度最終例会)
6 月 27 日	休 会

出 席 報 告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
41 名	38 名	3 名 対象外 (3)	100%	欠 8 名 対象外 (1)
				MU0 名 82.50%

【本日の欠席者】 三木 治一会員 堀一 慶明会員

会 長 報 告

島 利夫会長

1. 国際ロータリーより6月のロータリーレポートのお知らせが届いております。6月1\$=140円(ご参考)5月1\$=136円
2. 地区ローターアクト委員会より年次活動報告・卒会式のご案内が届いております。回覧致します。
 <ハイブリッド開催>日 時:6月11日(日)12:30~16:00 場 所:HOTEL PL UMM GEORGEVZOOM:回覧をご参照ください。

幹事報告

川口 禮敬幹事

1. 例会変更
 - 川崎幸 6/16(金)最終夜間例会 点鐘 18:00
6/23(金)休会
6/30(金)休会
 - 川崎高津南 6/19(月)第3週につき例会なし
 - 横浜港北 6/8(木)年度末移動夜間例会 点鐘 18:00 エクシブ箱根離宮
6/29(木)最終夜間例会 点鐘 18:00 新横浜プリンスホテル
 - 川崎高津 6/8(木)移動例会 防災教室「西梶ヶ谷小学校」
6/22(木)→18日(日)最終例会 夜間移動例会「横浜YTJホール」(センター北)
6/29(木)第5週につき例会なし
 - 川崎 6/29(木)休会
 - 川崎マリーン 6/29(木)休会
例会場変更 2023/4月~2025/1月(予定)
煌蘭(こうらん)川崎ダイス店 点鐘 12:30
 - 川崎西 6/30(金)休会
 - 川崎大師 6/14(水)年度末移動例会点鐘 18:00 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ 28F フレンチ「ベイ・ビュー」
 - 横浜あざみ 6/7(水)移動例会 高遠親睦旅行
6/14(水)通常例会 点鐘 12:30 新横浜グレイスホテル
6/21(水)通常例会 点鐘 13:15 アートフォーラムあざみ野 2F セミナールーム
6/28(水)最終例会 点鐘 12:30 新横浜グレイスホテル
2. 本日例会終了後、現・次理事役員会を開催致します。関係各位のご出席をお願い致します。

ガバナー補佐退任ご挨拶



国際ロータリー第2590地区第2グループ
ガバナー補佐 吉崎 治 様

会員お祝い

入会記念日

朝倉 和信会員

結婚記念日

片岡 英之会員

配偶者誕生日

小島 満 会員 静子様

小丸日出夫会員 寿美様

片岡 英之会員 由里子様

会員誕生日

内藤 幸彦会員 原 敏之会員

小丸日出夫会員

会員誕生日



原敏之会員、小丸日出夫会委員、内藤幸彦会委員

米山奨学金授与式



2023 学年度 米山奨学生 邵 天辰さん

卓話 会員各位による戦争体験



朝山 秀男会員

戦争について考える

戦後早 78 年がたち、原稿依頼という事で思いついた事を書いてみます。

今の若者の祖父母の世代は戦争を知らない世代になりつつあり、私も幼少のころでの事でおぼろげな記憶を書かせていただきます。

昭和 16 年の 1 月に父が出征しました、私が生まれたばかり（2 ヶ月の時）でした。

今でも耳に残る、昭和 20 年 3 月の B 29 大型爆撃機の重低音のエンジン音、空襲警報の発

令・大声で知らせる人（今思えば、消防団の前身の警防団？）近くの工場のサイレンの音、黒いカバーの裸電球、祖母にご先祖の位牌を包んだ風呂敷包みを背負わされ、母屋の傍に掘った防空壕に家族 3 人（祖母、母、私）逃げ込んだ。暗い空から B 29 から落とした焼夷弾が線香花火のように火がチラチラ落ちてくる。

“南無阿弥陀仏〜”と繰り返す祖母、母（静枝）へ倉庫に火が入ったようだ、見ておいでと、倉庫に駆け出す母、怖いもの見たさで防空壕から首を出す私、倉庫の扉を開ける母の後ろ姿、かあちゃんの背中が小さく黒い点のように映った・・・。

道路沿いは火の海で、消防車が飛び出してきた、自分たちは裏の田んぼに逃げた、背中風呂敷包みは痛かった。「ヒュー・ズボ」と田んぼに焼夷弾が落ちた。時間はわからないが、真っ暗な空、奥庭に入る小門の板塀まで燃えていた、近所の人が消してくれたようだ、自宅は焼けずに残った。

終戦の年、9 月？に父が帰還しました、私はどっかのおじさんが来たよ・・・（私の父でした）。

父は機関砲の射撃時に耳栓をしなかったため、音が聞こえなくなっていた、また亡国病とも言われた結核にかかっていたようだ。当時、助からない病と言われていたが、現在の登戸病院で手術を受け、一命を取り留め、何もない時代に育った私ですが、父親と過ごした幸せの思い出を今、振り返っています。

私がこのテーマについて書いている今、広島で G7 サミットが開催されています。難しいことは論じられませんが、私が幼少のころ、経験した思いは、これからの未来を担っていく子供

たちに絶対に繰り返してはいけない、テレビに映っている画面を見るときにつけ、平和の有難さをしみじみ感じ、永遠に続けてくれることを願っています。



小泉 繁勝会員



市川 実会員



志村 修司会員



川口 禮敬会員



廣山 宗一会員



富岡 昭一会委員



白井 正男会員



小島 満会員

戦争を体験された会員の皆様の空襲や疎開等の体験談をお話しされました。

惨い争いごとが、世界から無くなることを願っています。

以降に総務省発行の資料を掲載します。

川崎市における戦災の状況(神奈川県)

1.空襲等の概況

川崎市は、昭和17(1942)年4月18日の米軍による初めての本土空襲でも、攻撃目標になった。その後、昭和19(1944)年以降空襲が本格化するとともに、川崎市に何度も米軍機が飛来し、その度に被害を受けた。昭和20(1945)年4月15日に200機余のB29による大規模な爆撃を受け、市中心部と南武線沿いの工場が集中している地域は、壊滅的な被害を受けた。



<空襲後の市中心部:六郷橋から川崎駅西口方向を見る>

戦前から川崎市では重化学工業を主とする産業が発展しており、軍需生産でも重要な役割を果たしていた。臨海部に大規模工場が多くあり、また多摩川沿いを走る南武線沿線に戦時経済の拡大に伴い、その当時の最新の設備を持つ工場が次々に造られていった。そのため、米軍から最重点の攻撃目標の一つとされていたのである。



<破壊された工場>

参考文献

- ・「川崎空襲・戦災の記録」
- ・「川崎空襲・戦災の記録ダイジェスト版」
- ・「20世紀の川崎」

注)使用した写真は、川崎市平和館で展示・所蔵されているものである。

市中心部の惨状



<空襲後の市中心部:川崎市役所から砂子-小土呂橋方向>



<「川崎空襲・戦災の記録」ダイジェスト版より>

「川崎空襲・戦災の記録」から

「低空旋回する爆音。ザ、ザ、ザーという焼夷弾の鈍い落下音…校舎といわず校庭といわずあらゆる所に、油に火をつけたような火の塊がめらめら燃え出しました。それが見ている間に燃え拡がってゆきます…油脂焼夷弾ですから叩かれると火の玉となって飛散し、新しい発火点をつくる…校庭一面の火の海、校舎全面が音を立てて燃え上がりました。」
(「川崎空襲・戦災の記録 ダイジェスト版」より)

空襲後と平成10(1998)年の同じ場所を比較してみると、空襲による破壊の凄まじさがよくわかる。



＜平和通りから川崎市役所方向＞(空襲直後)



＜平和通りから川崎市役所方向＞(平成10(1998)年)



＜貝塚通りから川崎警察署方向＞(空襲後)



＜貝塚通りから川崎警察署方向＞(平成10(1998)年)

4.復興のあゆみ

戦争が終わった時、川崎市の中心部は焼け野原になっていた。半数近い市民が焼けだされていたため、川崎市は昭和20(1945)年12月に住宅緊急措置令を出し、軍需工場などの工員寮で空いていたものを借りて共同住宅にするなど、住宅難への対応を行った。また、昭和20(1945)年9月に戦災孤児等保護対策要綱などを定め、戦災孤児についての調査や合宿所の設置などを行った。工業都市として復興していくための復興計画を作り、財政難を克服しながら市営埠頭、幹線道路の整備や区画整理等を進めていった。その後、京浜工業地帯の中核都市として、やがて高度成長を牽引する地位を占めることになった。



＜復興した市中心部・六郷橋から川崎市役所方向＞(平成10(1998)年)



＜空襲後＞

5.次世代への継承

川崎市平和推進事業では、川崎大空襲の惨状を伝えるために、写真パネルを作成して毎年2回巡回平和展を行っている。また、川崎市平和館では「川崎市民と戦争」、「川崎大空襲」、「川崎・被災直後と現在」などの展示コーナーで映像による紹介を行っている。さらに、毎年行っている所蔵品展などにより、焼夷弾の残骸など当時の品々を展示していたり、川崎大空襲を描いたアニメーション映画「俺たちのビー玉」を製作し、子供たちにも理解してもらえるように努めている。

市内の夢見ヶ崎公園内に川崎市慰霊塔があり、毎年川崎市戦没者追悼式を催している。また毎年10月に、川崎市戦没者合同慰霊式を催している。